

異学年に学ぶ

学校長 遠藤 淳子



運動会参加賞ハンカチ
(赤・青・白)

正門脇の椿の木からは実が割れて黒く大きな種が、3年生の教室側にある胡桃の木からも、地面一杯に多くの実が落ちてきています。敷地内にある柿の実のオレンジ色も一層濃くなり、秋の深まりを感じています。

先日行われた運動会では、多くの保護者・地域の皆様に見守られて、子どもたちは練習の成果を存分に発揮することができたと感じています。温かなご声援やご協力をいただきまして、ありがとうございました。

また、早朝より行われたPTA役員・委員の皆様や、おやじの会の皆様によるボランティア活動のお陰で、誰にとっても安心・安全で、スローガンにあったように「思い出に残る運動会をつくる」ことができたのではないかと思います。

当日は、小机小の保護者・地域の皆様の学校への期待と信頼の気持ちを改めて実感する時間でもありました。ご覧いただきました子ども達の伸びやかな姿を、なお一層今後も伸ばしていけるように、教職員一同、気持ちを新たに頑張っていきたいものと思います。

さて、運動会では、徒競走は学年ごとでしたが、表現運動は低・中・高学年のブロックごと、ペア競技は、日頃よりペアを組んでいるペア学年（1年と6年、2年と4年、3年と5年）で行いました。練習の過程で、教え合いがあったり、互いに知恵や工夫を出し合って作戦を考えたり、上学年が下学年を導いたりする姿が多くありました。下学年が上学年の話を聞き入れ指示に従ったり、上学年が手本を示そうと張り切ったりする姿は、通常の教室内や学年活動内で見られる姿とは少し異なるものです。

小机小では、これまでもこうした異学年交流を大切にしてきたと聞いています。立場や年齢が異なる人と多様に関わり、折り合いをつけていく経験は、令和の時代を生きていくこれからの子ども達にとって、とても大きな学びとなります。今後も、こうした多くの他者との直接的な関わりを通して、豊かな人間性を育てていきたいと考えます。

運動会同日には、第3回学校運営協議会が行われ、委員の皆様には、校長室より学校行事全体の様子を見ていただき、終了時には、アンケートにて学校評価をいただきました。今後の学校教育につなげていきます。

- *開会式直前に体調不良となった子に、先生方がテキパキと対応していて、ありがたい気持ちになった。
- *子どもたちは元気に競技に参加していた。素直で礼儀正しい姿を見て嬉しくなった。このまま大人に育ってほしい。
- *子ども達の練習の成果が発揮され、予定通り開催されたことを嬉しく思った。
- *勝敗だけでなく、様々なアイデアや縦割りの演技など見ていて楽しかった。どの種目も先生方のご指導の賜物なのだと感じた。

(文面は、評価に関わる部分の抜粋です。)